

## テーマ「地域と共に創る学校づくり」の審議について

「地域の役割」と「地域の教育力の必要性」(教育ビジョン 202 頁より要約)

地域社会は、子どもたちがさまざまな体験などを通じた地域の人々との交流の中で、自主性、社会性といった豊かな人間性を身につけ、成長する場として、重要な役割を果たしている。

一方で、地域社会への帰属意識が希薄化し、子どもたちが、日常生活を通して学びを得る機会が減少している状況にあって、地域で子どもたちを健やかに育てる環境の整備が求められており、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を踏まえ、信頼関係を築きながら、連携協力していくことが不可欠である。

視点 「地域の教育力」による学校支援

“地域が学校のために”

地域の教育力(地域の人々の持つ知識や経験等)を活用して学校を支援する体制を整備する。

### 【検討のポイント】

地域の特色や課題と結びつきながら学校の特色化・魅力化を図れるような、学校支援のテーマとしては、どのようなものがあるか。

(例) 防災、環境、地域産業、人権・道徳、郷土芸能・祭り、交通安全や防犯など

上記のようなテーマのもとで、学校と地域との間で、具体的にはどのような連携が考えられるか。

テーマに応じて取組手法を工夫したり、学校のニーズと地域の人材の能力・意欲を円滑にコーディネートする仕組みをどのようにつくっていくか。

(例) コミュニティ・スクール、学校評価 など

視点 学校を舞台とした地域の人々の活躍の場の提供

“学校が地域のために”

学校が持つ知識や人材、施設などの教育資源を地域に還元することを通じて、地域人材の活躍の場づくりや自己実現を支援し、地域の活性化にもつなげる。

### 【検討のポイント】

教員のボランティアによる地域の人々の学びの場づくりには、どのようなものがあるか。

(例) 担当教科、資格、特技・趣味などを生かして

体育施設や図書館などを地域住民へ開放していくうえで、何か工夫できることはないか。

たとえば、読み聞かせボランティア等の人材発掘につなげる視点など。

放課後や休日における子どもたち、大人たちの活動の場づくりの支援として、どのようなことが考えられるか。

(例) 「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ」の立ち上げや運営の支援(たとえば学習教材の提供等)、空き教室の提供の検討など。